



加茂山一斉清掃 (4月10日)

主な内容

- 小池市長の市政報告 23
- ・ 加茂病院産科の早期再開について
- 平成16年度加茂市表彰式 45
- 不妊治療費助成のお知らせ 6
- やさしい医学 7
- カメラスケッチ 7
- 加茂の風土記 8

市政報告

加茂市長 小池 清彦

加茂病院の産科の再開については、現在、新潟県当局が努力中です。

私も早期再開に向けて頑張ります。

加茂病院産科の早期再開については、広報かも本年三月号六ページでお知らせ申し上げましたとおり、全市民の九三・二%の方々が再開を求める要請書に署名されました。

本当にありがとうございました。

早速、一月二十七日に新潟県庁知事室におきまして、私が草野区長会長さんをはじめ四十八名の区長さん方と御一緒に泉田裕彦知事さんへ要請書と署名簿をお渡ししてお願いいたしました。

泉田知事さんからは、再開に向けて努力する旨のお話がありました。

その後、三月十五日に山田病院局長が私のところにおいでになり、とりあえずの間報告として次のようなお話がありました。「泉田知事さんから、加茂病院産科の再開

に努力するようにとの御指示があり、病院局長として、新潟大学産婦人科の田中教授と相談を進めてきた。

ところが、最近、さらに十日町病院、坂町病院、がんセンター新潟病院の産婦人科の医師が退職を申し出るといふ新しい事態が発生した。

一方、国が研修医の制度を創設したため、新大産婦人科の医局でも医師が研修医として出払っており、手駒が少なくなっているため、県立病院へ出せる医師が極端に少なくなっている。

そのため、現在のところ、新大産婦人科

には、加茂病院産科へ出せる医師がそろわない。病院局としては、県外からの医師も招いているのだが、なかなかうまくいかない。

あと一年くらい経つと、だんだん研修に出た医師も医局へ戻ってきて、手駒も楽になってくると思われるが、当分はきつい。

県としても努力を続けたい。

これに対し、私は、「なんとしても、早期再開をお願いします」と申し述べました。

私といたしましては、今後とも、いろいろ手を尽くしながら精一杯努力してまいりたいと存じます。

㊦ 平成16年度 加茂市表彰式



加茂市の発展の功労・功績・ 伝統文化の継承に感謝

平成十六年度の加茂市表彰式が三月二十九日、文化会館で行われました。

表彰を受けられたのは、三十一名の個人・法人、特別表彰の三名で、いずれも各分野で功労、功績のあった方々です。表彰後、小池市長は式辞の中で「加茂市発展と市民の皆様のため、長い間それぞれの分野で大きな貢献を賜りました。今後とも御活躍を祈念します」と、その功績をたたえました。

表彰された皆さんは、次のとおりです。（敬称略）

自治興隆

田邊敏夫（65）加茂市、加茂市・田上町消防衛生組合公平委員会委員として十年以上。上町。

業務精励

山口廣正（70）屋根瓦葺工として四十九年以上にわたり従事し、後継者育成に尽力。寿町。

教育文化功労

坪谷昭一（75）三十二年以上にわたり地方として加茂松坂など保存・普及に貢献。第二区。
横山ミツエ（73）四十九年以上にわたり立方として加茂松坂など保存・普及に貢献。幸町一。

保健衛生功労

富樫良行（26）献血五十回以上。高須町二。
白井理寛（23）献血五十回以上。石川一。
林修司（29）献血五十回以上。青海町二。





昨年の地震被害に多額の寄付をいただいた株式会社日立インダストリーズと株式会社日立ニコトランスミッション



謝辞を述べる古川信三さん

須佐栄美子(30) 献血五十回以上。五反田。
近藤安平(65) 献血五十回以上。都ヶ丘。
五十嵐芳男(60) 献血五十回以上。大郷町二。
北澤忠男(54) 献血五十回以上。陣ヶ峰。
番場均(41) 献血五十回以上。新町二。
織田孝(63) 献血五十回以上。都ヶ丘。
草野純一(63) 献血五十回以上。矢立。
堀内佳代子(55) 学校医として二十年以上。第二十三区。
皆川佳徳(48) 学校歯科医として二十年以上。駅前。

社会福祉功勞

荒木幸蔵(74) 民生・児童委員として二十年以上。都ヶ丘。
関キクエ(67) 民生・児童委員として二十年以上。神明町二。
松下静(65) 民生・児童委員として二十年以上。岡ノ町。
青柳多一郎(69) 民生・児童委員として二十年以上。福島。
石崎茂(72) 民生・児童委員として二十年以上。前須田。
伊丹常吉(75) 民生・児童委員として二十年以上。第二十五区。
鶴巻喜美(72) 民生・児童委員として二十年以上。中大谷。

五十嵐鐵治(73) 保護司として二十年以上。青海町一。

産業振興功勞

吉田廣(65) 加茂商工会議所役員として二十年以上。寿町。

消防功勞

入江巖(53) 消防団員として三十一年以上。第二十四区。
大関光雄(61) 消防団員として三十一年以上。岡ノ町。
坂上光一(64) 消防団員として三十一年以上。青海町一。

市行政功勞

中野保榮(73) 区長として十一年以上。八幡一。
塩谷健三(74) 区長として十一年以上。横江。

私財寄附

株式会社日立インダストリーズ(東京都)
株式会社日立ニコトランスミッション(埼玉県)
中越大震災見舞いとして金員百万円、ハイビジョンプラズマテレビ一式(百四十六万円相当)を寄附

特別表彰

自治興隆

桑原勇策(79) 固定資産評価審査委員会委員として十一年以上。穀町。

市行政功勞

笠原光一(75) 区長として二十年以上。本町。

教育文化功勞

古川信三(89) 郷土史研究家として長年にわたり本市の歴史民俗の研究並びに文化財の保護に尽力。上町。



体外受精および顕微受精

不妊治療費を助成します

市では、今年度から不妊治療費の助成を行います。

不妊治療費は高額であるため、経済的負担が大きいことから、特定不妊治療（不妊治療のうち体外受精および顕微受精）に要する費用について、県の助成金（年間上限十万円）に上乗せし、年間上限十万円の助成を行います。

助成対象となる治療

体外受精および顕微受精。

対象者

① 特定不妊治療（体外受精および顕微受精）が必要であると医師に診断され、その治療を受けた方。

② 夫または妻が加茂市内に住んでいる方。

助成の内容

① 一年度あたり上限十万円とする。

② 県の不妊治療助成制度の対象になる場合は、必ず県の助成をも受けてください。

なお、県の助成は、通算二年間までとなっておりませんが、加茂市の助成には、このような制限はありません。

問い合わせ 健康課衛生係（☎内線一六二）へ。

消化器検診で胃や大腸のポリープと診断される人は少なくありません。今回は、消化器系のポリープについて説明します。

二月号で消化管の壁構造（内側より粘膜、粘膜下層、筋層など）を示しました。ポリープも粘膜より発生し、粘膜上皮の限局した増殖により内側に突出した隆起と定義され、通常、良性の病変を示します。がんや粘膜下層以下（脂肪腫、筋肉腫など）

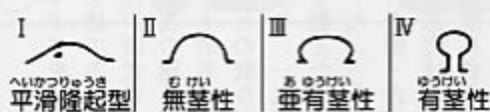


図 ポリープの形態分類

消化管ポリープ

の病変による隆起は含みません。隆起の形状でくびれや茎の有無により、図のように四形に分けられます。ポリープは、消化器系の部位により特徴がありますので説明します。

(1) 胃ポリープ

大半が過形成性ポリープ（胃腺上皮過形成）で、がん化するものは原則ありません。原則切除の必要はなく、一年に一回の経過観察で十分です。ほかに胃底腺性ポリープ（これも心配なし）、腺腫性ポリープ（これは注意必要）があります。

(2) 大腸ポリープ

80%は腺腫性ポリープで、大きくなると（1cm以上）がんを合併してくることがあります。がんの発生母地と考えられます。原則、内視鏡的切除を施行します。ほかに過誤腫、炎症性、過形成性ポリープがありますが、これらは心配ありません。

(3) 胆嚢ポリープ

多くはコレステロールポリープで、がん化することはありません。胆嚢は胃や大腸と異なり、直接内視鏡を入れて組織を採って病理検査ができません。



消化管の壁構造

ません。超音波（エコー）検査などで経過を診て1cmを超える大きなものや、形の不正なもの、形態が変化するものは、悪性の可能性も考え、手術するのが一般的です。

以上まとめれば、胃ポリープは心配なし、大腸ポリープは積極的切除、胆嚢ポリープは経過観察が原則となります。また組織的にみると、腺腫性のもものは、がんに変化する可能性があり、特に注意、治療が必要となります。

（加茂市医師会）

カメラ スケッチ



ミス雪椿一日駅長（4月14日）

昨年度ミス雪椿の渡辺さんと瀬賀さんが高頭JR加茂駅長から任命を受け、雪椿まつりのPRにユキツバキの苗木を乗客にプレゼントしました。



祝入館者五十万人達成（4月28日）

平成14年11月に開館してから50万人目となったのは市内の諸橋ハナさんで、これまでの記念入館者では初めての加茂市内の方となりました。

職工・塗師も細かく定めた

加茂建具営業組合同規約

家の戸やドアを製造する建具業が、家を建てる大工から分離したのは江戸時代になってからである。加茂の建具業者は、明治初期に二十余名、二十世紀初めに北海道との取り引きが開始されるに至り、一気に倍増して四十三名を数えた。

明治三十九（一九〇六）年九月、当時の老舗・古沢甚六を中心に一部有志だけの組合を改組して「加茂建具営業組合」を設立した。会員四十七名、設立時の役員は組長・古沢甚六、副組長・北沢栄吉、有本元吉、評議員・鈴木石太郎、田中米吉、関

本清太郎、知野甚太郎、若林太五郎、小柳留吉、瀬高兵九郎、古川清吉である。ほかに特別評議員として材木商の川崎久次郎、永井仁助、川口清吉が名を連ね、建具業界への影響力をうかがわせる。

加茂建具組合に残る結成時の規約によると、職工徒弟と塗師についての細かい規定が目ざれる。

職工徒弟について、採用・賃金・移動などにつき組合事務所へ届け出るとされるほか「雇主ニシテ故意ヲ以テ材料ヲ給セス職工ヲシテ空シク休工セシメシ

場合、雇主ハ其職工ニ対シ使役スル權利直チニ消滅スルモノトス」「職工ニシテ止ムヲ得サル（理由）ニヨリ解雇ヲ求ムルトキハ相当ノ理由ナクシテ雇主ハ之ヲ拒ム事ヲ得ス、若シ解雇ノ諾否ニ関シ職工ヨリ事務所へ申出ツル時ハ組長ニ於テハ相手ノ事実ヲ調査シ疑義ニ涉ルモノハ役員會議ニヨリ之ヲ処分スル」など、職工側に立った条文もある。

当時、生産される建具の多くは、今と違って漆が塗られていた。建具業界にとつて塗師はなくてはならない職人であった。組合では、塗師を賛助会員に加え、塗師は組合が塗師代表と協議して決めるとされた。ほかに「塗師業者ハ本組合外ノ（同）業者ノ塗物依頼ニ応ズル事ヲ得ス」「塗師業者ニシテ粗悪又ハ不正品ヲ作為シメニ品質ヲ傷ツクルト認ムルトキハ、役員会ノ審議ニヨリ本組合員ハ一切依頼ヲ停止スル事アルベシ」と塗師にとつて厳しい内容が盛り込まれていた。

賛助会員として、川崎吉蔵、田中駒吉、丘山ヨセ、丘山喜一、大関七蔵、酒井吉太郎、中村宗助、田沢伊三郎の塗師八名が登録された。

（長谷川昭一）

加茂の風土記

加茂建具営業組合同規約



第5条第3項には「職工徒弟ノ智識ヲ啓発スル力ヲメ夜学又ハ相当ノ方法ヲ設ケテ以テ美風ヲ奨励ス」と徒弟の教育に関する項目もある。

ふじやう

社会福祉費寄付金

▼小柳耕一さん（故・小柳京子さんのご遺族 岩野）から 十万円

社会福祉事業費として

▼石澤郁子さん（故・石澤元さんのご遺族 学校町）から 十万円

▼赤谷育成会から 四万五千五百円



防犯ベル

▼株式会社中越シールから 防犯ベル 三百個

加茂市へ

▼加茂ライオンズクラブから 木製ベンチ七基

この木製ベンチは、市民活動委員会からの提言を受けて、加茂ライオンズクラブが県央工業高校に依頼し、建設工学科建築コース三年生が作製したものです。穀町から新町の間に設置されていますのでお買い物・散歩の途中にご利用ください。

人口のうごき

4月1日現在

世帯 9,907（-15）
人口 32,575（-84）
男 15,768（-46）
女 16,807（-38）

（ ）内は前月比

（3月異動分）

出生 14（男 6 女 8）
死亡 33（男20 女13）
転出167 転入102